



2025 年 10 月 30 日

各 位

東京都中野区本町一丁目 32 番 2 号
会 社 名 アクセルマーク株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 松川 裕史
(コード番号: 3624 東証グロース)
問 合 せ 先 経営管理部ゼネラルマネージャー
若海 正弥
(TEL 03-5354-3351)

新たな事業（ビューティー&ウェルネス事業）の開始に関するお知らせ

当社は、2025 年 10 月 30 日付の取締役会において、新たな事業としてビューティー&ウェルネス事業を開始することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

当社は、2023 年 12 月 15 日付「(開示事項の経過) ヘルスケア事業への本格参入に関するお知らせ」記載のとおり、協業先が開発する感染症検査技術「AscellaOne」の商用化、プラットフォームの開発実現に向けて事業展開を進めております。ヘルスケア事業に参入して以降、当社は人材の登用を積極的に進め、2024 年にはヘルスケア専門の完全子会社としてアクセルメディカ株式会社を設立するとともに、医療機器の製造販売業許可等（第二種医療機器製造販売業許可、体外診断用医薬品製造販売業許可）を取得いたしました。「AscellaOne」については、引き続き、鋭意開発、商用化に関する取り組みを進めております。

上記に加え、2024 年 10 月 24 日付公表「第三者割当による第 29 回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第 30 回新株予約権の発行並びに第 2 回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換価額及び第 23 回新株予約権の行使価額の調整に関するお知らせ」のとおり、当社はトレカ事業とともに、ヘルスケア事業を成長戦略として掲げております。

このような状況のなか、当社は従来より推進してきた「病気を発見・治療」を主眼とするヘルスケア事業を基盤とし、個人の魅力が溢れる健康で快適な生活の実現を目的としたビューティー&ウェルネス分野の立ち上げを行うこといたしました。

「ビューティー&ウェルネス」とは、心身の健康や生活の質を維持・向上させることを目的とする「ウェルネス (Wellness)」と、ライフスタイルの充実により個人の美しさや魅力を引き出すことを目的とする「ビューティー (Beauty)」を組み合わせた概念であり、当社が新たに注力する事業領域を表すものです。

当社のこれまでのヘルスケア事業では、病気を早期に発見することを主眼とし、感染症検査技術「AscellaOne」を活用したプロジェクトを進める中で、病気の発症を未然に防ぐ予防医療、特に健康寿命の延伸に着目してまいりました。人々が健康で長く生活できる期間を延ばすことは、社会全体の課題

であり、医療費の削減や生活の質の向上にもつながると考えております。

当社は、個人がライフスタイルにあわせて魅力的かつ健康で快適な生活できる環境を実現することがこの社会課題の解決に資すると認識し、新たな事業領域としてビューティー&ウェルネス分野に注力することを決定いたしました。本事業では「本質的な美しさは健康から生まれるもの」という理念のもと、インナービューティ（内面の美容）とアウタービューティ（外面の美容）の両面から総合的にアプローチすることで本質的な魅力や美しさを実現する「ビューティー&ウェルネス事業」を展開してまいります。

近年、日本の美容・パーソナルケア市場は、IMARC Services Private Limitedによると、健康志向の高まりや高齢化社会の進展、サステナブルな製品への関心の高まりを背景に、年平均成長率 4.3%で拡大を続けており、2033 年には約 4.5 兆円規模に達する見込みです。（出典：「日本の美容・パーソナルケア市場概要 2025～2033 年」）特に、健康と美容を一体として捉える「ビューティー&ウェルネス」志向が強まり、コラーゲンドリンクや腸活サプリメントなど、インナーケア製品の需要が急伸しています。コロナ禍以降、免疫力やメンタルヘルスへの関心が高まり、「おこもり美容」や「セルフケア」が定着し、インナービューティーは、腸活・睡眠・ストレスケアなどを含む包括的な概念として、幅広い世代に支持されるようになりました。アウタービューティ領域では、AI による肌診断やバイオテクノロジーを活用したスキンケア、サステナブルな製品設計など、テクノロジーとナチュラル志向の融合が進んでいます。

また、韓国発の美容関連（K-Beauty）市場は、Spherical Insights LLP によると、日本市場でも急成長を遂げ、年平均成長率 8.3%で拡大を続けており、2023 年時点で約 896 億円規模だった日本市場は、2035 年には約 2,173 億円規模に達する見込みです。（出典：「日本 K-Beauty 製品市場規模、トレンド、成長、予測」）K-Beauty は、革新的な成分や高性能・低価格の製品設計、そして SNS や K-POP を通じた文化的影響力により、若年層からミドル層まで幅広い支持を得ています。

このような状況のなか、本事業ではまずは以下のサービスを展開予定でございます。本サービスを通じて、肌と心の健やかさを両立する「ビューティー&ウェルネス」の実現に努めてまいります。

2. 新たな事業の概要

(1) 新たな事業の内容

ア 化粧品自社ブランドの立ち上げ

当社は、“理想の肌バランスの概念をもとに、肌・心・体の「最適なバランス」に近づくことを目指す”ことをコンセプトに掲げた化粧品の自社ブランドを 2025 年 10 月付で立ち上げました。本ブランドは、男女 20 代～50 代の幅広い世代を対象に、科学的アプローチに基づき肌へのやさしさ（バリア機能と美肌菌バランスを重視）を第一に考えて設計した商品を展開してまいります。今後は、このコンセプトに基づき、ブランド価値の確立を目指し、事業の発展を図ってまいります。

イ 韓国トレンドサプリメント事業会社への戦略的出資

当社は、2025 年 6 月付にて、韓国のトレンドサプリメントを取り扱うウェルネスモアラボラトリーズ株式会社（本店所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：佐野雄大、以下「ウェルラボ社」といいます。）への戦略的出資を実施いたしました。当社の取締役管理本部長がウェルラボ社の取締役を兼任しており、両社の連携強化を図っております。同社は、韓国美容関連ブランド（K-Beauty）の取扱いに関して豊富なノウハウを有しており、韓国コスメや韓国健康商品（サプリメントや飲料など）を中心に輸入販売を行っております。当社は、同社を通じて韓国トレンドを意識した商品に関する動向を把握するとともに、同社の営業ノウハウと当社が保有する製造販売業等を活用した協業も視野にい

れて事業活動を実施してまいります。

また、同社の事業拡大を後押しするため、今後の成長状況を踏まえ、追加出資や業務支援等の支援策を検討してまいります。当社は、この出資を通じて韓国トレンドを取り入れたインナービューティー領域に注力するとともに、国内外での事業拡大を推進してまいります。

(2) 新たな事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

当社はビューティー&ウェルネス事業に関する費用として、化粧品自社ブランドの立ち上げや新規事業展開を推進するため、300百万円の支出を2025年11月から2027年12月までの期間で見込んでおります。なお、当該資金は、本日付「第三者割当による第31回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第32回新株予約権の発行[並びに第23回新株予約権及び第30回新株予約権の行使価額の調整]に関するお知らせ」記載のとおり、調達する資金の「①ビューティー&ウェルネス事業拡大に関する費用」から充当する予定です。

3. 日程

取締役会決議日	2025年10月30日
事業開始日	2025年10月30日

4. 今後の見通し

本件における2026年9月期の業績に与える影響は軽微と考えておりますが、今後の見通しにおいて重大な影響があると判断された場合には、速やかに開示にてお知らせいたします。本件は中長期的に当社業績へ寄与するものと考えております。

以上

＜本リリースに関するお問い合わせ先＞

アクセルマーク株式会社 経営管理部

メール：ir@axelmark.co.jp